



栽培終了後に行うこと



(農業機械の整備・保全、効率的な資材購入を行いましょう!)

1. 農業機械の整備・保全 ~不具合防止は栽培終了後から!~

★ポイント

1. **屋内保管が大原則 (外置きは機械を壊す元、最悪の場合全損に!)**
 - ・ 短期間でも「野ざらし・シートかけっ放し」では、シート内に溜まった湿気で外装・内部が傷み、高額な機械が全損することもあります。
2. **燃料タンクの中身に注意 (軽油は満タンに、ガソリンは空っぽに)**
 - ・ 作業後に使い残した燃料は、種類ごとに適切に扱いましょう。
3. **栽培終了=エンジンオイルの交換期 (汚れオイルはエンジン故障の元)**
 - ・ オイルが汚れたままでは不純物がエンジンの各部に詰まり、不具合を招きます。保管中に交換し、エンジンを健全な状態に保ちましょう。
4. **水洗いは慎重に (農業機械も電化製品です!)**
 - ・ 電装品・作動ワイヤーの根元等、水気を嫌う箇所にかからないよう注意しましょう。
5. **洗って干したら潤滑油差し (差してもすぐには効きません)**
 - ・ 可動部への注油は保管前に行い、十分行き渡るようにしましょう。
6. **バッテリーの適切な取扱い (慌てる前の放電防止!)**

機械に接続したままでは、バッテリーが上がる危険があります。保管前に+・-どちらかの電極を外しておきましょう。

 - * 充電は機械を動かす1~2か月前に行うと速やかに作業できます。
7. **ネズミ対策も忘れずに (思わぬ侵入者の悪戯に御用心!)**
 - ・ 保管中に配線をかじる等により機械を壊します。また糞等により不衛生にもなります。機械本体・保管場所を清掃し、殺そ剤や粘着シート等を用い確実に駆除しましょう。
8. **耕耘爪等すり減る部品の点検・交換 (直前に気づき慌てないように)**
 - ・ 作業効率や安全に影響する部品です。栽培前に整備しておきましょう。

・ 適切な整備・保全を行い、本年産の不具合を翌年産に持ち越さないようにしましょう。

* 農作業と同様、事故に注意して作業を行ってください。

2. 翌年産資材購入の留意点 ~使い残り確認で重複買い防止!~

★ポイント 翌年産の資材購入前に、使い残した資材の確認を

(参考: 購入資材の内訳)



・ 使い残しを翌年産で消費することにより、劣化による廃棄も防げます。

* 農薬については、使用期限の切れたものは適切に廃棄しましょう。